

消防相互応援協定に基づく合同訓練を実施

3月20日（金）10時30分から、北陽台2丁目の金沢テクノパーク運動広場で、金沢市・砺波地域消防組合・小矢部市・南砺市消防相互応援協定に基づく合同訓練を実施しました。

今回の訓練は、平成31年3月26日に締結した消防相互応援協定に基づく協力体制の確立と、連携体制の充実・強化を目的として、初めて富山県側と合同で行われました。

訓練は、金沢市内で林野火災が発生し、富山県側に延焼のおそれがあることから、金沢市消防局は、砺波地域消防組合・小矢部市・南砺市に対し応援を要請したとの想定で実施され、連携による消火活動を確認しました。

訓練には、両県の消防職団員、18隊約130名が参加し、金沢市消防局の小型無人機ドローンを活用し、上空から延焼状況を把握しました。

